

## 小平市の成功要因

集団検診のみであった大腸がん検診の受診機会を  
医療機関でも受診可能にすると共に  
個別受診勧奨で対象者にそれを周知

### 東京都小平市

小平市健康福祉部健康課 課長補佐兼予防係長

宇野 智則 氏

小平市が市民を対象に実施する大腸がん検診は平成22年10月まで、胃がんの集団検診実施日(年80日程)に合わせて、受診者が健康センターまで検体を持参する方法で実施していました。そのため、遠方に住む市民の方から、「**受診場所が遠い**」、「**不便だ**」といったご意見を頂戴していました。また受診率についても7%台と低迷していたことから、健康課では**受診しやすい環境づくり**の検討を行いました。

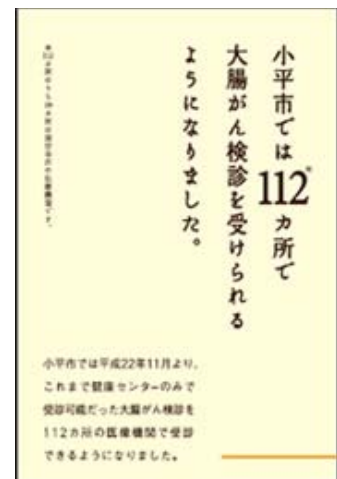
市民の利便性の向上と受診率向上の対策として、平成22年11月から、**小平市医師会等の協力のもと、市の特定健康診査を実施する112か所の医療機関で個別検診による大腸がん検診の受診を可能**としました。112か所の医療機関で検診の受診が可能になったことで、**受診の利便性は大きく向上しましたが、そのことをいかに効果的に周知するかが課題**となりました。市報やホームページ等による個別検診開始についての広報は行いましたが、開始が年度途中であったこともあり受診率はそれほど伸びませんでした。

そこで、東京都の医療保健政策区市町村包括補助事業を活用し、先進諸外国で効果的な手法として知られ、都内のいくつかの自治体で成果が出ている“個別受診勧奨・再勧奨”の手法を用いることとしました\*。平成23年度は、罹患リスクの高い60歳代のうち64歳と65歳の市民の方を対象に個別受診勧奨・再勧奨を実施しました。

勧奨のご案内には、**大腸がん検診の重要性やメリットを判りやすく記載すると共に、“受診機会の増大”をニュースとして伝えた**のです。メッセージも、「個別検診が開始されました」や「医療機関でも受けることができるようになりました」では平凡な印象がぬぐえなかったため、民間企業の協力のもと「今年から、112か所で受けられるようになりました」というインパクトのあるメッセージを用いました。その結果、**個別勧奨を実施した年齢の受診率は59.1%と前年(14.9%)に比べて飛躍的に伸長し、多くの方に検診を受けてもらうことができました。**

個別受診勧奨による、高い受診率向上効果が確認されたことから、小平市では、**平成25年度から大腸がん検診に加え、子宮頸がん検診にも個別受診勧奨を拡大し実施**することとしました。

\*小平市のH23年度個別受診勧奨事業は、東京都における医療保健政策区市町村包括補助事業「がん検診受診率向上事業」にて実施しました



小平市で使用した  
受診勧奨リーフレット